

# 仕事とプライベートが 両立できる職場



今村 新平

Imamura Shinpei

国税専門官 2013年採用

徴収部 特別整理部門

Question

## 1 現在の仕事内容について教えてください。

私は現在、特別整理部門に所属しており、税務署では処理困難な大口・悪質事案に対する税金の滞納整理を担当しています。

徴収職員には、国税徴収法に基づく質問検査権や滞納処分の権限が与えられており、納税に対する誠意のない滞納者に対しては、毅然たる態度で滞納整理を行います。

また、悪質な滞納者に対しては、部門全体でプロジェクトチームを結成し関係箇所の一斉捜索を行うなど、部門職員が一体となって業務を遂行できることが特別整理部門の魅力です。



処理困難な大口・悪質事案に対する税金の滞納整理を担当しています

Question

## 2 どのようにして仕事と子育てを両立していますか。

課業時間内に仕事を終わらせることを意識し、なるべく早く家に帰って、子供に夕食を食べさせ、お風呂にいれるなど、妻の負担を少しでも減らせるよう心掛けています。

また、国税の職場は、配偶者が出産した際、男性でも積極的に育児休業を取得しやすい環境だと感じます。

実際に、私自身も子供が生まれた直後に育児休業を1か月間取得し、育児に専念できました。そのおかげで、子供の成長を日々感じる事ができたことに加えて、育児のノウハウを学ぶことができ、職場に復帰してからも、妻と分担しながら楽しく育児ができています。



Question

## 3 休日の過ごし方について教えてください。

平日は子供と触れ合う時間が多くは作れないため、休日には、自宅で絵本を読み聞かせたり、近所を散歩したり、公園の遊具で遊んだりして、思う存分子供と触れ合うようにしています。

また、休日に合わせて年次休暇を取得し、家族で遠方に旅行に行くこともあります。国税の職場は年次休暇も取得しやすい環境にありますので、レジャーの予定も立てやすく、何より子供と触れ合う時間をしっかり確保できるため、自分自身のリフレッシュにも繋がっています。



子供と触れ合う時間を確保できるため自分自身のリフレッシュにも繋がっています

### Message

私は、就職前、国税の職場は非常に忙しいイメージを抱いており、仕事とプライベートの両立は難しいのではないかと感じていました。

しかし、実際は子育てと仕事の両立支援制度への周囲の理解もあり、男女を問わず制度を利用しやすい環境のため、子育てや趣味等にもしっかりと時間を確保することができています。国税の職場を目指している方々は、私と同じように育児等で多忙な時期は周りの職員がサポートしますので、是非、一緒に働いてみませんか！国税の職場ではきっと公私ともに充実した生活が送れると思います。

この職場で皆さんと仕事ができるのを楽しみにしております。